

ニセナシサビダニ (Japanese pear rust mite)

Eriophyes chibaentis



ナシの被害葉



実体顕微鏡で観察したニセナシサビダニ

発生生態

成虫が粗皮の隙間などで越冬し、夏までに7～8回発生を繰り返します。発生盛期は6～7月で、主に新梢先端の葉を吸汁し、さび症状や葉の湾曲を引き起こし、多発すると早期落葉します。

体長が0.2mm程度しかなく、肉眼で確認することは、ほぼ不可能です。

防除対策

せん定時に越冬場所である粗皮を削り取り、密度を下げるのが大切です。

薬剤散布では、新梢の先端に多く寄生するので、その部位に十分に薬液がかかるように注意します。